# 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日


上場会社名　あすか製薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4514　URL http://www.aska-pharma.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山口　隆
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長　(氏名) 千葉　公　TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日　平成22年11月12日　配当支払開始予定日　平成22年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 21,826 | 45.7 | 600 | ― | 680 | ― | △944 | ― |
| 22年3月期第2四半期 | 14,978 | 3.7 | △359 | ― | △235 | ― | △287 | ― |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | △33.53 | ― |
| 22年3月期第2四半期 | △10.19 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 53,570 | 32,219 | 60.1 | 1,143.16 |
| 22年3月期 | 53,239 | 33,198 | 62.2 | 1,176.26 |

(参考) 自己資本　23年3月期第2四半期　32,198百万円　22年3月期　33,133百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | ― | 7.00 | ― | 7.00 | 14.00 |
| 23年3月期 | ― | 7.00 | | | |
| 23年3月期(予想) | | | ― | 7.00 | 14.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 45,150 | 26.2 | 1,300 | 209.7 | 1,500 | 129.1 | 100 | 6.9 | 3.55 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.2「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期2Q | 30,563,199株 | 22年3月期 | 30,563,199株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期2Q | 2,396,625株 | 22年3月期 | 2,394,900株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期2Q | 28,167,243株 | 22年3月期2Q | 28,170,220株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 2
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 2
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 2
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．補足情報 …… 9
（１）主力品の売上高 …… 9
（２）臨床開発状況 …… 10

## １．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加を背景に景気は緩やかな回復基調にあり、企業収益の改善により設備投資にも持ち直しが見られたものの、雇用・所得環境は引き続き厳しい状況で推移し、為替円高の影響などにより先行き不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、本年４月に長期収載医薬品の特例引き下げを含む薬価改定が実施され、後発品の使用促進など医療費抑制の基調は変わらず、市場環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、当期を初年度とする新中期経営計画「ASKA PLAN 2012」の方針に基づき、医薬品事業を中心に売上の確保に努めました結果、売上高は218億２千６百万円（前年同期比45.7%増）となりました。

医療用医薬品分野では、薬価改定や主力製品の競争激化の影響はありましたが、後発医療用医薬品（３品目）の上市、後発医療用医薬品および販売権を取得した商品等の販売増により、売上高は200億１千３百万円となりました。

動物用医薬品分野では、本年４月に畜水産領域およびコンパニオンアニマル領域に係る国内販売事業を承継したことにより、売上高は16億３千９百万円となりました。

そのほか、検査、医療機器、食品等の売上高は１億７千３百万円となりました。

利益面では、売上構成の変化による売上原価率の増加等の影響はありましたが、売上高の増加に加え、研究開発費および販売費等の削減の結果、営業利益６億円（前年同期は３億５千９百万円の営業損失）、経常利益６億８千万円（前年同期は２億３千５百万円の経常損失）とそれぞれ増益となりました。一方、特別損失として、希望退職者募集に伴い発生した退職加算金等の費用11億１千３百万円ならびに投資有価証券評価損８億４千２百万円（前年同期は５千６百万円）計上したことにより、四半期純損失９億４千４百万円（前年同期は２億８千７百万円の四半期純損失）となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ３億３千１百万円増加し、535億７千万円となりました。この主な要因は、長期借入金の返済、並びに特別損失計上による利益剰余金の減少等もありましたが、仕入増による支払手形及び買掛金の増加、及び希望退職者の退職金を未払金に計上したことなどにより流動負債が増加したためであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度から2.1ポイント低下し60.1%となっております。

### （３）連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年3月期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成22年11月5日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．その他の情報

### （１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### （２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められたため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第２四半期連結累計期間の営業利益は０百万円減少し、経常利益は６百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は６百万円増加しております。

（税金費用の計算方法の変更）

税金費用については、従来、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しておりましたが、四半期連結会計期間の実績に応じた税金費用をより正確に四半期連結財務諸表に反映させるため、第１四半期連結会計期間より納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法に変更しております。

この変更により、当第２四半期連結累計期間の四半期純損失は５百万円増加しております。

（不動産賃貸費用の計上区分の変更）

従来、賃貸設備に関する減価償却費等の費用は、一般管理費に計上しておりましたが、営業外の収益と費用の対応をより厳密に行なうため、第１四半期連結会計期間より営業外収益の不動産賃貸料に対応させて、賃貸設備に係わる減価償却費等の費用を「不動産賃貸費用」として営業外費用に計上する方法に変更しております。

この変更により、当第２四半期連結累計期間の営業利益が31百万円多く計上されておりますが、経常利益、税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 当第２四半期連結会計期間末<br>（平成22年９月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成22年３月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,299 | 4,094 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,884 | 7,733 |
| 有価証券 | 4,670 | 5,340 |
| 商品及び製品 | 5,161 | 4,819 |
| 仕掛品 | 854 | 466 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,577 | 1,650 |
| その他 | 1,323 | 1,297 |
| 貸倒引当金 | － | △3 |
| 流動資産合計 | 26,770 | 25,398 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,469 | 5,568 |
| その他（純額） | 8,412 | 8,799 |
| 有形固定資産合計 | 13,882 | 14,367 |
| 無形固定資産 | 2,976 | 3,280 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,390 | 4,752 |
| その他 | 5,602 | 5,495 |
| 貸倒引当金 | △123 | △120 |
| 投資その他の資産合計 | 9,869 | 10,127 |
| 固定資産合計 | 26,728 | 27,774 |
| 繰延資産 | 71 | 66 |
| 資産合計 | 53,570 | 53,239 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,315 | 4,709 |
| 短期借入金 | 416 | 133 |
| 未払法人税等 | 79 | 53 |
| 賞与引当金 | 1,092 | 1,047 |
| その他の引当金 | 7 | 5 |
| その他 | 4,729 | 3,187 |
| 流動負債合計 | 12,641 | 9,136 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,833 | 3,057 |
| 退職給付引当金 | 5,907 | 6,643 |
| その他の引当金 | 271 | 252 |
| その他 | 696 | 950 |
| 固定負債合計 | 8,709 | 10,903 |
| 負債合計 | 21,350 | 20,040 |

（単位：百万円）

| | 当第２四半期連結会計期間末<br>（平成22年９月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成22年３月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,197 | 1,197 |
| 資本剰余金 | 845 | 845 |
| 利益剰余金 | 32,702 | 33,844 |
| 自己株式 | △2,306 | △2,306 |
| 株主資本合計 | 32,438 | 33,581 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △229 | △439 |
| 繰延ヘッジ損益 | △10 | △8 |
| 評価・換算差額等合計 | △240 | △448 |
| 少数株主持分 | 21 | 65 |
| 純資産合計 | 32,219 | 33,198 |
| 負債純資産合計 | 53,570 | 53,239 |

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成21年４月１日<br>至　平成21年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 14,978 | 21,826 |
| 売上原価 | 5,843 | 12,304 |
| 売上総利益 | 9,135 | 9,521 |
| 返品調整引当金繰入額 | △1 | 1 |
| 差引売上総利益 | 9,136 | 9,519 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,495 | 8,919 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △359 | 600 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 3 |
| 受取配当金 | 41 | 47 |
| 不動産賃貸料 | 82 | 106 |
| その他 | 28 | 32 |
| 営業外収益合計 | 161 | 189 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13 | 20 |
| 固定資産処分損 | 1 | 10 |
| コミットメントフィー | 16 | 23 |
| 不動産賃貸費用 | － | 31 |
| その他 | 6 | 23 |
| 営業外費用合計 | 37 | 109 |
| 経常利益又は経常損失（△） | △235 | 680 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 56 | 842 |
| 特別退職金 | － | 1,113 |
| 特別損失合計 | 56 | 1,955 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △292 | △1,275 |
| 法人税、住民税及び事業税 | － | 30 |
| 法人税等調整額 | － | △317 |
| 法人税等合計 | 53 | △286 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | － | △988 |
| 少数株主損失（△） | △57 | △44 |
| 四半期純損失（△） | △287 | △944 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成21年４月１日<br>至　平成21年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △292 | △1,275 |
| 減価償却費 | 804 | 1,357 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 56 | 842 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △4 | △736 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △115 | 57 |
| 受取利息及び受取配当金 | △50 | △51 |
| 支払利息 | 13 | 20 |
| 特別退職金 | － | 1,113 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 376 | △1,157 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △1,619 | △657 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 519 | 1,619 |
| 確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額（△は減少） | △197 | △208 |
| その他の負債の増減額（△は減少） | － | 946 |
| その他 | 158 | 188 |
| 小計 | △351 | 2,060 |
| 利息及び配当金の受取額 | 51 | 51 |
| 利息の支払額 | △13 | △20 |
| 事業再編による支出 | － | △89 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | 126 | 69 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △186 | 2,070 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,488 | △443 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,368 | △747 |
| その他 | △499 | △207 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,356 | △1,398 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 2,200 | － |
| 長期借入金の返済による支出 | － | △940 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | 90 | － |
| 自己株式の純増減額（△は増加） | △0 | △1 |
| 配当金の支払額 | △196 | △197 |
| その他 | △41 | － |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,050 | △1,138 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △0 | 0 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △2,492 | △465 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,774 | 9,434 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,281 | 8,969 |

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

１．報告セグメントの概要

当第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）及び当第２四半期連結会計期間（自平成22年７月１日　至平成22年９月30日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、医薬品等の製造・販売及び輸出入等を中心に事業を展開しており、「医薬品事業」を報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、主に医療用医薬品を製造・販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）及び当第２四半期連結会計期間（自平成22年７月１日　至平成22年９月30日）

当社の報告セグメントは「医薬品事業」のみであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1)主力品の売上高

# 主　力　品　の　売　上　高
# （平成23年3月期　第2四半期実績）

（単位:億円）

| 品目名 | | 前期 平成22年3月期 | | 当期 平成23年3月期 | | 対前年同四半期増減率（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第2四半期実績 | 年間実績 | 第2四半期実績 | 年間見込 | |
| 経皮吸収型鎮痛消炎剤 | セルタッチ | － | 43.1 | 44.5 | 83.7 | － |
| 高脂血症治療剤 | リピディル | 19.4 | 40.0 | 20.7 | 41.5 | 6.7 |
| 甲状腺ホルモン剤 | チラーヂン | 19.7 | 38.0 | 20.0 | 38.9 | 1.5 |
| 前立腺肥大症・癌治療剤 | プロスタール | 16.9 | 34.7 | 15.4 | 31.1 | △ 8.9 |
| 消化性潰瘍・胃炎治療剤 | アルタット | 12.5 | 25.8 | 11.8 | 23.2 | △ 5.6 |
| 前立腺癌治療剤 | ビカルタミド | 6.0 | 14.3 | 9.6 | 17.3 | 60.0 |
| 高血圧治療剤 | アムロジピン | 4.1 | 10.5 | 8.5 | 16.6 | 107.3 |
| 経口避妊剤 | アンジュ | 5.4 | 11.2 | 6.6 | 13.9 | 22.2 |

(2)臨床開発状況

# 臨　床　開　発　状　況

（平成22年11月現在）

平成22年11月5日
あすか製薬株式会社
東証市場第一部
コード番号　4514

| 区　分 | 品　名<br>(開発番号) | 物　質　名<br>(一 般 名) | 領 域・効 能 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| 承認<br>(2010年10月27日付) | (NPO-11) | ミンクリア | 内視鏡検査前処置薬 | 日本製薬㈱と販売提携 |
| 申請中 | (GRS-027) | フェノフィブラート(新剤形) | 高脂血症 | 自社開発製剤 |
| 申請中 | (AKP-004) | アルタットカプセル | 小児の用法・用量の追加 | 自社開発 |
| 申請中 | (SOH-075) | レボノルゲストレル | 緊急避妊 | ㈱そーせいからの導入<br>(独占販売権取得) |
| PhaseⅢ | (BNP7787) | ディメスナ | 抗悪性腫瘍剤(シスプラチン＋タキサン系)投与患者における生存期間延長効果 | BioNumerik社(米国)からの導入 |
| PhaseⅡ | (GPD-1116) | PDE1/4阻害剤 | 慢性閉塞性肺疾患及び気管支喘息 | 自社開発 |
| PhaseⅠ | (BNP1350) | カンプトテシン誘導体 | 悪性腫瘍 | BioNumerik社(米国)からの導入 |
| PhaseⅠ | (AKP-002) | PDE9阻害剤 | 前立腺肥大症に伴う排尿障害 | 自社開発<br>(アステラス製薬㈱へ導出) |
| PhaseⅠ | (AKP-001) | p38MAPK阻害剤 | 炎症性腸疾患 | 自社開発 |
| PhaseⅠ | (AKP-501) | 遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン(rFSH) | 不妊症 | 日本ケミカルリサーチ㈱からの導入及び共同開発 |
| PhaseⅠ準備中 | (L-105) | リファマイシン系の非吸収性抗生物質 | 肝性脳症<br>過敏性腸症候群(IBS)<br>クローン病(CD) | Alfa Wassermann SpA<br>(伊国)より導入 |